※令和３年度以前入学生用

学校番号	3020

令和５年度　芸術科［美術］

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「高校生の美術Ⅰ」日本文教出版						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

基本はものをよく見ることです。一面的でなく、様々な方向や角度から見ることです。離れて全体を見たり、部分を拡大してみたり、構造を見たりすることです。人は見ているようで見ていないことが多く、絵を描いたり、物を作ると概念的な表現につながります。日頃から身の周りにある様々なものに眼を向けてよく見ましょう。美しさやその理に心を集中させてもう一度観察してみてください。

2　学習の到達目標

美術の幅広い活動を通して、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし美術文化についての理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術や芸術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の活動を行い、創造活動に取り組む。	感性や想像力を働かせて、美術の良さや美しさを感じ取り、豊かに発想し創造的に表現している。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身につけ、意図に応じて表現方法を工夫し、用具や画材を活用しているか。	生活や自然と美術の関連、美術の歴史などを理解し、その美しさを創造的に味わうことができたか。
評価方法	ワークシート 制作の様子 鑑賞活動の様子	ワークシート アイデアスケッチ 製作途中の作品 完成作品	製作途中の作品	ワークシート アイデアスケッチ 作品

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
		a	b	c	d		
1学期	「オリエンテーション」 ・教科書を鑑賞し、多様な表現活動について学び「美術Ⅰ」の学習イメージを持つ。 「デッサン」 ・グレースケール ・立方体デッサン 「色彩演習」 ・３色でつくる色相環 ・色彩のグラデーション	○ ○ ○	 ○	 ○ 	 ○ ○	a: 美術の多様な表現に関心を持ち、これからの学習に意欲を高めているか。色彩に興味を持って取り組んでいるか。 b: 色の持つイメージや効果、混色や色彩表現に色の関係を理解し表現しているか。鉛筆の特性を理解し表現しているか。遠近法を理解し表現しているか。 c: 鉛筆による明度表現、遠近法による空間表現、陰影法による立体表現に取り組んでいるか。 d: 生活や自然の美しさを創造的に味わうことができたか。	ワークシート ワークシート 作品 ワークシート 作品
	「校内スケッチ」水彩画 ・自分が見つけた場所の魅力を視点や構図、光や影、遠近法を工夫して描く。 ・製作作品の相互鑑賞	○	○	○	○	a: 魅力ある風景やそれを生かす視点を探求しているか。 b: 画面に奥行きを生み出し、その場所の魅力や印象を表現できているか。 c: 線透視図法や色彩遠近法を活用しているか。 d: 生活や自然の美しさを創造的に味わうことができたか。	ワークシート 作品
2学期	「切り絵」 ・動植物のモチーフを組み合わせ、対称になる図案を考え製作する。 ・構成やシンメトリー、形の単純化、図案化や構成を工夫して製作する。 ・製作作品の相互鑑賞	○		○		a: 主体的に創作活動に取り組んでいるか。 c: 切り絵の表現方法やカッティング方法を理解して、構成を考え製作できたか。切り絵の特性を生かして、形の図案化や組み合わせを工夫し表現できたか。	ワークシート アイデアスケッチ 作品
	「立体似顔絵」 ・モデルとなる人物を、紙粘土を使い立体的に似顔絵製作。 ・製作作品の相互鑑賞 「木版画」 ・版画、印刷の種類と特徴について学び、版画表現の良さを生かし木版画制作をする。 ・製作作品の相互鑑賞	○ ○	○	○ ○	○ ○	a: 主体的に創作活動に取り組んでいるか。 b: 紙粘土の特性を理解し、モデルの特徴を捉え、立体で表現製作できているか。木版画による表現の良さや特性を理解し、その効果を生かして表現できているか。 c: テーマに沿った図案や表現を工夫し、技法やプロセスをふまえ製作できているか d: 生活や自然の美しさを創造的に味わうことができたか。	ワークシート アイデアスケッチ 作品 ワークシート 作品

※令和３年度以前入学生用

3学期	「シンボルマーク・ロゴマーク」 ・自分を表すマークやロゴを製作 伝えたい内容やイメージを視覚的に記号化・図案化する。 「パッケージデザイン」 ・包むもの、目的と役割を考えてパッケージをデザインする。	○ ○		○ ○		a: 主体的に創作活動に取り組んでいるか。 c: マークやロゴ、サインに関心を持ち形や色彩などの造形要素の働きを理解し製作できているか。パッケージや包装に関心を持ち、機能や形の美しさ、表現の工夫をしているか。	アイデアスケッチ 作品

※　表中の観点について　a:美術への関心・意欲・態度　　b:発想や構想の能力
c:創造的な技能　　d:鑑賞の能力